

第3種郵便物認可

5/20

業務用食品卸 RCフードサービス

本社、北島に25年移転

規模2倍 需要増に対応

業務用食品卸の県内大手RCフードサービス（徳島市）が北島町中村に本社と物流拠点を新築する。規模を2倍に拡大して食品需要の増加に対応するとともに、津波に備え臨海部から内陸に移転する。2025年2月の稼働開始を目指す。

内陸部 津波対策も



約7900平方メートルの敷地に、事務所と物流拠点が一体となった「徳島センター」（鉄筋コンクリート一部2階建て延べ約3300平方メートル）を建設する。今年6月に造成工事に着手する。投資額は非公表。

同社は四国内の飲食店や病院、従業員食堂などに冷凍品や調味料、生鮮品といった約1万種類の食品を卸している。業務用食品は冷凍技術の向上で需要が拡大しており、同社は豊富な品ぞろえで取引先を増やしている。移転までに従業員を新たに20人雇用し、5年以

内に配送トラックを約20台増やす。移転に合わせ、商品の在庫管理や入力作業を自動化するシステムを導入し、省力化も図る。

徳島市のマリンピア沖洲にある現本社は賃貸物件のため増築が難しく、津波の被害も懸念されていた。このため、徳島自動車道・松茂スマートインターチェンジ（IC）に近く、人口が多く雇用しやすい北島町を移転先に選んだ。

建設地はハローズ北島中央店など商業施設が並ぶ一角の北側。市街化調整区域だが、町が地区計画を策定し、開発を可能にした。町内には近年、新学社やワイ・ジー・ケーなど企業の進出が相次いでいる。

島野和社長は「顧客には病院もあり、津波発生時に商品を供給できるようにしておきたい」と話している。（河野大樹）